ヌエバでチャンピオンを目指せ!!

国際ハンドボール連盟公認球

日本リーグ唯一の公式試合球

全日本大学選手権（インカレ）
唯一の公式試合球

日本ハンドボール協会検定球

本大会試合球

国際ハンドボール連盟公認球
日本ハンドボール協会検定球

32H300WRB　ヌエバ

●手縫い●天然皮革●3号球●32枚パネル●白×赤×青×黒

国際ハンドボール連盟公認球
日本ハンドボール協会検定球

32H200WRB　ヌエバ

●手縫い●天然皮革●2号球●32枚パネル●白×赤×青×黒

molten®

株式会社 モルテン

東京本社　〒130-0003 東京都墨田区横川5丁目5−7
大阪・名古屋・福岡・広島・四国・仙台・札幌・リノU.S.A.・デュッセルドルフG

速報 アジア大会 ～男女ナショナルチームの戦いから

韓国・釜山で開催されているアジア競技大会でのハンドボール男女ナショナルチームの戦いについて、強化委員会の玉村健次氏が速報を送ってくれました。残念ながら、本号の編集締め切り時点で全試合の結果をお伝えする事は出来ませんが、速報として前半の試合の結果をお伝えし、詳報は次号に掲載いたします。

男子

■第1戦（9月30日）

日　本　30（14－8／16－7）15　中　国

〔戦　評〕立ち上がりから日本は宮崎、中川の鋭いシュートで中国を突き放しにかかり、守ってはＧＫ坪根を中心に池辺、羽賀らの鉄壁のディフェンスで相手の攻撃を最小限に抑え、前半を６点リードで折り返す。後半に入ってもディフェンスにおいて集中力を途切らす事なく、攻めては控えのメンバーも含めほぼ全員が得点するなど快勝した。今後に向けて大変素晴らしい内容での勝利となった。

〔得点者〕宮崎６、中川６、茅場６、内田３、佐々木２、古家２、松林２、池辺１、羽賀１、下川１

■第2戦（10月2日）

日　本　35（17－11／18－13）24　バーレーン

〔戦　評〕立ち上がりから日本は堅いディフェンスから速攻で宮崎、内田、中川らが着実に加点し、５分過ぎに６－１とリードを奪う。その後、一進一退が続くもチャンスを確実にものにし、守っては坪根を中心に手堅いディフェンスで前半を17－11で折り返す。後半立ち上がりも、落ち着いたプレーで相手のラフプレーによる退場時も着実に得点を重ね、佐々木のカットインなどで相手につけ入るすきを与えなかった。非常にバランスよいゲーム運びで安定感があり、今後に大きな期待が持てる。

〔得点者〕宮崎10、内田６、中川５、山口５、池辺３、茅場２、佐々木１、下川１、永島１、古家１

■第3戦（10月4日）

日　本　52（26－3／26－3）6　モンゴル

〔戦　評〕立ち上がりから日本は角谷、古家、宮崎らの連続ゴールで前半14分には12－０と大量リードを奪う。その後も連続ゴールで突き放し、前半を26－３で終了。後半も怒涛の速攻で下川、角谷のスカイプレー等も決まり、52－６で快勝した、次からいよいよ韓国を交えた勝負となるが、安定した戦いぶりで今後に大きな期待が持てる。先ずは決勝トーナメント進出を確実にものにした。

女子

■第1戦（10月1日）

日　本　21（12－13／9－15）28　韓　国

〔戦　評〕初戦ということでお互い固さが見られ、12分過ぎまでロースコアの展開となるが、日本は山田、金城らの活躍とＧＫ山下のファインプレーもあり、一時２点リードする。その後、３点差となる７ｍＴを外し、そこから７～８分間無得点の間に逆転され、前半１点ビハインドで終わる。後半に入ると、立ち上がり３連続失点でリードを広げられ、稲吉、金城らの気迫あるプレーとＧＫ山下のスーパーセーブで何とか食らいつくものの７点差で敗れた。

〔得点者〕金城５、山田４、佐久川４、田中３、中村２、稲吉２、藤浦１

■第2戦（10月3日）

日　本　26（14－12／12－14）26　北朝鮮

〔戦　評〕立ち上がりから一進一退が続き、前半10分過ぎまでロースコアの展開となる。15分過ぎからゲームは動きだし、日本は佐久川、山田らで得点を重ね、一時リードを許すも落ち着いて取り返し、前半を２点リードで終える。後半立ち上がり、リードを広げて日本はミスから相手に逆速攻を食らい同点にされる。日本はＧＫ山下の堅実なキープから点差を広げようとするが、７ｍＴの連続失敗が響き、最後まで試合はもつれ、29分過ぎ１点リードするも、残り10秒に７ｍＴをとられ同点とされる。突き放すところで突き放せなかったところに悔いが残る。

〔得点者〕佐久川６、田中（美）６、山田４、藤浦３、早船３、稲吉２、大石１、青戸１

■第3戦（10月7日）

日　本　20（8－18／12－14）32　カザフスタン

〔戦　評〕開始早々カザフスタンはサイズを武器にした強引なプレーで日本ディフェンスを崩しにかかる。稲吉などのタイミングの良いパス回しからステップ、ロングを狙うが、カザフスタンＧＫに阻まれ、前半の主導権をカザフスタンに握られた。後半に入り、日本は積極的なディフェンス・シフトでカザフスタンの攻撃をかく乱する事に成功。チャンスを多くものにするが、ミスもあり、トータルの点差がなかなか縮まらない。迫力有るディフェンスから青戸が良くキャプテンシーを発揮したが、前半のビハインドが明暗を分けた。

〔得点者〕稲吉５、早船４、山田３、青戸２、金城２、藤浦１、大石１、河本１、佐久川１

男子は浦西（沖縄）、女子は鹿骨（東京）が優勝を飾る
第31回全日本中学校ハンドボール大会の報告

和歌山県実行委員会事務局長　清　瀧　保　雄

平成14年度全国中学校体育大会・第31回全国中学校ハンドボール大会が８月22日から25日まで、和歌山市の和歌山ビッグホエールと橋本市の和歌山県立橋本体育館にそれぞれ２コート計４コートで開催されました。

和歌山県でハンドボールの全国大会を開催するのは初めてのことであり、さらに、和歌山県勢はここ数年、近畿ブロックの壁を突破できず、全国大会には出場できていない状況下での開催となりました。しかし、決まった以上、「和歌山の大会に出場してよかった」と参加チームに思ってもらえる大会にしようと、準備を進めてきました。

最初は、平成12年度の沖縄大会の視察から始まりました。予算の都合で２名で視察を行いました。「和歌山でできるのか」という不安だけを大きくして帰ってきました。

平成13年度の山口大会の時に、エアコンのかかる体育館で開催することとなり、ホエール・橋本の４コート開催の方向で検討に入りました。両会場の移動には１時間30分程度かかるので、宿舎をどこにするかが、課題となりました。

参加チームには、宿舎と会場の移動に迷惑をかけるけど、できるだけ良い条件下でゲームをしてもらえれば、と両会場で開催しました。

次に、問題になったのは、スタッフの人数です。和歌山県には男子９チーム、女子８チームしかありません。副顧問の先生を合わせても総勢33名です。しかも、２会場に分かれてしまうとどうなる事やらと悩んでいたところ、「近畿はひとつや」の掛け声の下、近畿ブロック専門部が応援してくれることになり、大変助かりました。

大会は、１回戦から逆転や１、２点差の好ゲームが展開され、中学生とは思えないほどのスピードとテクニックで見る者を圧倒するほどでした。なかでも男子の汐路（愛知）と鹿骨（東京）の対戦は今大会唯一の延長戦となり、汐路が激戦を制し、決勝戦まで駒を進めました。

男子決勝戦は、浦西（沖縄）と汐路の対戦となり、前半は２点差で折り返しましたが、高さ、パワーに勝る浦西が粘る汐路を振り切り優勝しました。

女子決勝戦は、ともに１点差、２点差のゲームを制してきた鹿骨（東京）と高石（大阪）が対戦し、中盤にゲームの流れをつかんだ鹿骨がそのまま激戦を制し優勝しました。大会に出場したチームはすべて、ハンドボールのプレイだけでなく、礼儀やマナーにおいても素晴らしいものがあり、指導された先生方やコーチ、保護者の協力の賜であると感じました。

大会を終えて、会場を後にする選手達の笑顔を見て、「何とかできたなぁ」と思うと同時に、大会を支えてくれた役員・補助員生徒、全国の各ブロック長の先生方、近畿専門部の先生方に対して心からの感謝の念がわきました。本当にありがとうございました。

さらに、㈶日本ハンドボール協会、㈶日本中学校体育連盟、和歌山県教育委員会、和歌山市・橋本市教育委員会、和歌山県ハンドボール協会、和歌山県中学校体育連盟、その他多くの方々の多大なるご支援、ご協力により、この大会を開催できたことを心より感謝いたします。

最後に、来年度、北海道函館市で開催されます第32回大会の成功を祈念して大会終了の報告とお礼といたします。

【試合結果】◆◆◆◆◆

男　子

◆１回戦

チーム	得点	前半・後半	得点	チーム
総社西	17	11－5 6－7	12	松橋
浦西	24	17－7 7－12	19	大塚
西朝明	23	13－4 10－13	17	氷見北部
三松	24	13－8 11－8	16	久世

◆２回戦

チーム	得点	前半・後半	得点	チーム
豊中第二	43	19－8 24－10	18	宇賀の浦
香川第一	22	15－4 7－8	12	岩出
黒石野	35	16－13 19－15	28	横川
汐路	29	13－12 11－12 （延長） 2－2 3－2	28	鹿骨
けやき台	21	13－9 8－8	17	総社西
浦西	35	20－11 15－9	20	西條
大体大附	27	8－9 19－7	16	西朝明
三松	15	5－7 10－4	11	末武

◆３回戦

チーム	得点	前半・後半	得点	チーム
けやき台	22	13－12 9－8	20	豊中第二
浦西	35	20－7 15－12	19	香川第一
大体大附	29	13－8 16－13	21	黒石野
汐路	20	10－8 10－7	15	三松

◆準決勝

浦 西 中 学 校 33 (19－6 / 14－7) 13 けやき台中学校

［戦評］浦西中のスローオフで始まる。1分過ぎ、けやき台中3番瀬尾の速攻が決まる。続けて、2番塚本の速攻で退場者を誘い、3番瀬尾が7mスローを決めてけやき台中2－0とリード。しかし、浦西中は、速攻、カットイン、右サイドシュートなどで5連取し、あっさり逆転。その後も速攻などで得点を重ねる浦西中に対し、けやき台中は4－9とリードされた11分過ぎ、タイムアウトを取り、体勢を立て直そうとするが、浦西中優勢のまま試合が流れる。長身の3番棚原のミドルシュートやポストプレーなどから着々と加点し、前半を浦西中リードで折り返した。(19－6)

後半、けやき台中も粘りを見せ、積極的に攻めるが、点差はひらく一方であった。浦西中は10分過ぎ（28－8）からメンバーを入れ替えるなど終始浦西中ペースで試合が運んだ。結局、高さとスピードのある浦西中が33－13で勝利をおさめ、決勝へ進んだ。

汐 路 中 学 校 22 (13－10 / 9－10) 20 大阪体育大学附属中学校

［戦評］立ち上がりから激しい点の取り合いとなった。大体大は早いパス回しから7番連のポストシュート、2番山本のロングシュートで得点を重ねれば、汐路は13番生川、14番桶口、15番伊藤のロングシュートで応酬。中盤までは一進一退の攻防が続く。中盤から大体大に退場者がでたすきなどに、汐路はロングシュートを次々と決め2点リード。大体大もペナルティーや7番連のポストシュートで追い上げ1点差とするものの、終了間際、汐路13番生川が立て続けに得点し、13－10汐路リードで前半を折り返した。

後半立ち上がり、汐路は13番生川、14番伊藤のカットインシュート等で得点を重ねるのに対し、大体大はミス等から得点できず、じりじりと点差は7点まで広がった。中盤から大体大はマンツーマン、1－2－3DF、キーパーの好セイブで得点を許さず、終盤汐路に退場者が出たすきに7番連のポストシュート、2番山本のロングシュート等で懸命に追い上げ2点差まで詰め寄ったが、最後は汐路が前半と後半立ち上がりのリードを守って逃げ切った。

◆決　勝

浦 西 中 学 校 31 (15－13 / 16－9) 22 汐 路 中 学 校

［戦評］浦西中は、立ち上がりゴールキーパーの好守から3番　棚原、5番　石川の連続得点により有利に試合を運んだ。浦西中7番　東長濱のスカイプレーや汐路中13番生川のミドルシュートの活躍もあり、10分には6対4となる。浦西中3番　棚原の退場の間に、汐路中は6対5（11分）と詰め寄る。その後、浦西中5番　石川、13番　中河のミドルシュートで15分に9対6と差を広げた。浦西中8番　呉屋、13番　中河、汐路中14番　樋口、15番　伊藤のお互いに速攻等が出始め20分には12対9になったが、浦西中7番　東長濱が顎出血治療中に12対12（22分）と追いついたが浦西中8番　呉屋のサイドからのループシュート等で15対13で前半終了。

後半に入り浦西中は3番　棚原のポストシュート13番中河のミドルシュート等の連続得点により20対13（5分）となり主導権を握った。汐路中は14番　樋口のステップシュート等で23対17（10分）と詰め寄ったが、浦西中の3番棚原のポストからのシュートの連取で15分には27対18と試合を決めた。その後も浦西中は3番　棚原の活躍により31対22となり浦西中が勝利した。

女　子

◆1回戦

矢　巾	12 (5－2 / 7－5)	7	岩出第二
森　田	14 (7－4 / 7－5)	9	白　子
日　枝	19 (7－11 / 12－3)	14	大　蔵
住　吉	20 (9－7 / 11－11)	18	東　陽

◆2回戦

長　良	16 (8－8 / 8－6)	14	延　岡
東生野	19 (5－5 / 14－5)	10	臼　尻

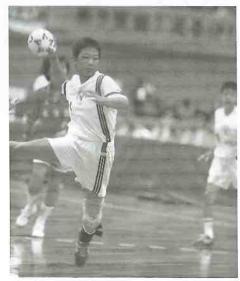
岩井	19	10−8	9−9	17	小松南部
平山	29	17−5	12−10	15	香東
操南	29	13−9	16−6	15	矢巾
鹿骨	27	14−7	13−5	12	森田
神森	13	4−4	9−4	8	日枝
高石	19	12−6	7−7	13	住吉

◆3回戦

長良	20	10−9	10−10	19	操南
鹿骨	18	9−8	9−6	14	東生野
神森	21	11−5	10−9	14	岩井
高石	23	10−8	13−13	21	平山

◆準決勝

鹿骨中学校	27	14−8	13−11	19	長良中学校

［戦評］長良中のスローオフで始まったこの試合は、30秒過ぎ11番金沢の左サイドシュートで長良中が先取。４分過ぎ、鹿骨中６番石井の速攻が決まり同点（１対１）。続けて６番石井がサイドシュートを決めると、すかさず長良中６番の速攻でまた同点（２対２）、その後も一進一退の攻防を繰り返す。18分を過ぎたころから、鹿骨中がポストプレーとカットインプレーで４連取し、前半を14対８で鹿骨中リードで折り返す。

後半、巻き返しを図りたい長良中が、焦りからかミスが続き、その隙に鹿骨中の５連取もあり、21対９と差が開いた。その後、長良中の速攻など５連取で巻き返しを図り、後半18分、６点差（17対23）まで詰め寄るが、攻撃のスピードで上回った鹿骨中が19対27で勝利し、決勝へ進んだ。

高石中学校	19	9−8	10−10	18	神森中学校

［戦評］近畿、九州各ブロック１位校同士の対戦は白熱した好ゲームとなった。高石は４番中久保、２番佐野の鋭い突っ込みからロングシュート、ポストシュートをねらう。高石はやや堅さの見える神森から３点を先取。一方神森は早いパス回しからDFの間げきをぬってシュートをねらう。高石は２番佐野のシュートがよく決まり終始試合をリード。一方神森も中盤以降５番當間、８番翁長のロングシュートが決まりだし、前半９－８の高石リードで折り返した。
後半立ち上がり高石は４番中久保のロングなどで立て続きに加点し、突き放し差を４点に広げる。神森は７分過ぎのタイムアウトをきっかけに、フリースローからの速攻、８番のロングなどで激しい追い上げ、ついに19分過ぎ同点に追いつくさらに一進一退の攻防がつづく。22分、高石は２番のシュートで１点リード。神森も最後まであきらめずシュートをねらうが、高石DFにはばまれ得点できずそのまま試合終了。

◆決　勝

鹿骨中学校	26	15−7	11−8	15	高石中学校

［戦評］立ち上がりより鹿骨中５番　岡村の速攻等が決まり10分には５対２と鹿骨中が主導権を握った。高石中は反撃すべき大切なところでパスミスが続き鹿骨中のボールカットからの得点を許し、15分には８対４となり得点差を詰め切れなかった。その後、高石中が２番　佐野のミドルシュート等で頑張ったが、鹿骨中３番　下野、７番　石塚の連取もあり、15対７と鹿骨中がリードして前半を終わる。

後半に入ると高石中のディフェンスが荒くなる。退場者及び７ｍＴを与えるようになり10分には19対８と鹿骨中有利となった。高石中３番　橋本、４番　中久保、６番　田代のミドルシュート・ポストシュート等で反撃するが鹿骨中２番　里見、３番　下野、４番　溝井の速攻が決まり20分には24対13と得点差は動かなかった。その後も同じような展開となり26対15で鹿骨中が勝利した。互いに退場者が続出するなか、着実に加点した鹿骨中の勝因であると思われる。高石中は、後半の中頃から思い切ったプレーで得点した４番　中久保が前半から得点を重ねていたらと惜しまれる。

男　子

試合	チーム	得点	得点	チーム
1回戦	松橋（熊本県）	12	17	総社西（岡山県）
1回戦	浦西（沖縄県）	24	19	大塚（愛知県）
1回戦	西朝明（三重県）	23	17	氷見北部（富山県）
1回戦	久世（京都府）	16	24	三松（宮崎県）
2回戦	けやき台（茨城県）	21	17	総社西（岡山県）
2回戦	豊中第二（大阪府）	43	18	宇賀の浦（北海道）
2回戦	香川第一（香川県）	22	12	岩出（和歌山県）
2回戦	浦西（沖縄県）	35	20	西條（富山県）
2回戦	大阪体育大附属（大阪府）	27	16	西朝明（三重県）
2回戦	横川（東京都）	28	35	黒石野（岩手県）
2回戦	汐路（愛知県）	29	28	鹿骨（東京都）
2回戦	三松（宮崎県）	15	11	末武（山口県）
3回戦	けやき台（茨城県）	22	20	豊中第二（大阪府）
3回戦	香川第一（香川県）	19	35	浦西（沖縄県）
3回戦	大阪体育大附属（大阪府）	29	21	黒石野（岩手県）
3回戦	汐路（愛知県）	20	15	三松（宮崎県）
準決勝	けやき台（茨城県）	13	33	浦西（沖縄県）
準決勝	大阪体育大附属（大阪府）	20	22	汐路（愛知県）
決勝	浦西（沖縄県）	31	22	汐路（愛知県）

優勝　浦西中学校（沖縄県）

女　子

試合	チーム	得点	得点	チーム
1回戦	矢巾（岩手県）	12	7	岩出第二（和歌山県）
1回戦	白子（三重県）	9	14	森田（福井県）
1回戦	日枝（岐阜県）	19	14	大蔵（兵庫県）
1回戦	住吉（山口県）	20	18	東陽（大分県）
2回戦	操南（岡山県）	29	15	矢巾（岩手県）
2回戦	延岡（宮崎県）	14	16	長良（愛知県）
2回戦	臼尻（北海道）	10	19	東生野（大阪府）
2回戦	森田（福井県）	12	27	鹿骨（東京都）
2回戦	神森（沖縄県）	13	8	日枝（岐阜県）
2回戦	岩井（茨城県）	19	17	小松南部（石川県）
2回戦	香東（香川県）	15	29	平山（東京都）
2回戦	住吉（山口県）	13	19	高石（大阪府）
3回戦	操南（岡山県）	19	20	長良（愛知県）
3回戦	東生野（大阪府）	14	18	鹿骨（東京都）
3回戦	神森（沖縄県）	21	14	岩井（茨城県）
3回戦	平山（東京都）	21	23	高石（大阪府）
準決勝	長良（愛知県）	19	27	鹿骨（東京都）
準決勝	神森（沖縄県）	18	19	高石（大阪府）
決勝	鹿骨（東京都）	26	15	高石（大阪府）

優勝　鹿骨中学校（東京都）

第15回全国小学生大会

男子はスポーツ少年団守谷（茨城）
女子は2年連続神森小学校ハンドボールクラブ（沖縄）が優勝

第15回全国小学生大会は、８月２日から４日まで京都府の田辺中央体育館をメイン会場に、同志社大学体育館、田辺高校体育館で、全国から男子26チーム、女子20チームを集めて行われた。

大会は、男女とも予選リーグ、または予選トーナメントの後、上位８チームによる決勝トーナメントが行われた。

男子は茨城県のスポーツ少年団守谷クラブが、２連覇をめざした熊本県の玉名小学校ハンドボールクラブを破って４年ぶり２回目の優勝をした。

女子は沖縄県の神森小学校ハンドボールクラブが、大分県の明野北ハンドボール少年団を破って、２年連続２回目の優勝をした。

✻試合結果✻

男子の部

■ 予選リーグトーナメント

◆Aブロック

チーム	得点	前半・後半	得点	チーム
愛媛ジュニアーズ	14	6－3／8－3	6	塩山スポ少
玉名町小学校	18	9－4／9－1	5	甲田ハンドボール部
甲田ハンドボール部	16	8－3／8－7	10	塩山スポ少
玉名町小学校	19	12－3／7－5	8	愛媛ジュニアーズ

•【順位】①玉名町小学校（熊本）②愛媛ジュニアーズ（愛媛）③甲田ハンドボール部（広島）④塩山ハンドボールスポーツ少年団（山梨）

◆Bブロック

チーム	得点	前半・後半	得点	チーム
鈴鹿ハンドスクール	24	12－3／12－2	5	一つ輪クラブ
S.H.C.鶴巻	12	5－2／7－3	5	一つ輪クラブ
鈴鹿ハンドスクール	12	7－3／5－6	9	S.H.C.鶴巻

【順位】①鈴鹿ハンドボールスクール(三重)②S.H.C.鶴巻(東京)③一つ輪・安堵ハンドボールクラブ(奈良)

◆Cブロック

チーム	得点	前半・後半	得点	チーム
草内小学校	13	6－6／7－4	10	香川町スポ少
草内小学校	12	5－3／7－5	8	日吉小クラブ
日吉小クラブ	18	9－4／9－5	9	香川町スポ少

【順位】①草内小学校ハンドボールチーム（京都）②日吉小ハンドボールクラブ（長崎）③香川町ハンドボールスポーツ少年団オリーブくん（香川）

◆Dブロック

チーム	得点	前半・後半	得点	チーム
横瀬クラブ	39	16－2／23－1	3	柏崎ジュニア
和歌山市ハンド教室	16	5－2／11－3	5	柏崎ジュニア
横瀬クラブ	29	11－2／18－4	6	和歌山市ハンド教室

【順位】①横瀬ハンドボールクラブ(大分)②和歌山市ハンドボール教室(和歌山)③柏崎ジュニアハンドボール(新潟)

◆Eブロック

チーム	得点	前半・後半	得点	チーム
守谷クラブ	10	3－3／7－4	7	当山小クラブ
当山小クラブ	16	7－6／9－5	11	総社ジュニア
守谷クラブ	17	9－2／8－5	7	総社ジュニア

【順位】①スポーツ少年団守谷クラブ(茨城)②当山小ハンドボールクラブ（沖縄）③総社クラブジュニア（岡山）

◆Fブロック

チーム	得点	前半・後半	得点	チーム
冨岡イーグルス	19	7－3／12－5	8	愛知ハンドスクール
京田辺市選抜	18	11－5／7－10	15	冨岡イーグルス
京田辺市選抜	18	10－2／8－4	6	愛知ハンドスクール

【順位】①京田辺市選抜(開催地）②冨岡イーグルス（群馬）③愛知県ハンドボールスクール（愛知）

◆Gブロック

チーム	得点	前半・後半	得点	チーム
窪スポ少	27	13－1／14－1	2	根知和スポ少
高盛クラブ	15	9－1／6－2	3	根知和スポ少
窪スポ少	20	9－4／11－6	10	高盛クラブ

【順位】①窪スポーツ少年団ハンドボール部(富山)②高盛ハンドボールクラブ(北海道)③根知和スポーツ少年団(大阪)

◆Hブロック

チーム	得点	前半・後半	得点	チーム
日知屋東小	21	9－7／7－8／(延長)2－1／3－3	20	安居ブルーサンダー
リトルガッツ	14	8－1／6－5	6	神戸ラスカルズ
安居ブルーサンダー	16	7－6／9－3	9	神戸ラスカルズ
日知屋東小	13	5－5／8－5	10	リトルガッツ

【順位】①日知屋東小ハンド(宮崎）②リトルガッツ（山口）

③安居ブルーサンダー（福井）④神戸ラスカルズ（兵庫）

■決勝トーナメント１回戦

玉名町小学校 16（10－7 / 6－5）12 鈴鹿ハンドスクール
横瀬クラブ 20（8－6 / 12－6）12 草内小学校
守谷クラブ 15（6－4 / 9－3）7 京田辺市選抜
窪スポ少 18（9－6 / 9－5）11 日知屋東小

■準決勝

玉名町小学校 15（7－5 / 8－8）13 横瀬クラブ
守谷クラブ 23（9－6 / 14－7）13 窪スポ少

■３位決定戦

横瀬クラブ 24（12－5 / 12－12）17 窪スポ少

■決勝

守谷クラブ 18（6－5 / 12－5）10 玉名町小学校

女子の部

■ 予選リーグ

◆ａブロック

大浜キッズ 10（6－3 / 4－5）8 愛知ハンドスクール
神森小学校 21（8－2 / 13－0）2 甲田ハンドボール部
神森小学校 19（12－1 / 7－5）6 愛知ハンドスクール
甲田ハンドボール部 10（4－1 / 6－4）5 大浜キッズ
神森小学校 23（15－1 / 8－4）5 大浜キッズ
甲田ハンドボール部 15（6－3 / 9－4）7 愛知ハンドスクール

【順位】①神森小学校ハンドボールクラブ（沖縄）②甲田ハンドボール部（広島）③大浜キッズ（大阪）④愛知県ハンドボールスクール（愛知）

◆ｂブロック

リトルガッツ 13（7－4 / 6－5）9 冨岡ラビッツ
宇土花園クラブ 17（6－7 / 11－9）16 冨岡ラビッツ
宇土花園クラブ 14（7－6 / 7－6）12 リトルガッツ

【順位】①宇土花園ハンドボールクラブ（熊本）②リトルガッツ（山口）③冨岡ラビッツ（群馬）

◆ｃブロック

京田辺市選抜 8（5－3 / 3－2）5 笹川ハンド少年団
麻生ジュニア 8（4－2 / 4－5）7 笹川ハンド少年団
京田辺市選抜 14（6－2 / 8－1）3 麻生ジュニア

【順位】①京田辺市選抜（開催地）②麻生フェニックスジュニア（茨城）③笹川ハンドボール少年団（三重）

◆ｄブロック

明野北少年団 17（8－6 / 9－4）10 真弓クラブ
真弓クラブ 17（8－6 / 9－2）8 塩江スポ少
明野北少年団 19（9－3 / 10－1）4 塩江スポ少

【順位】①明野北ハンドボール少年団（大分）②真弓クラブ（奈良）③塩江ハンドボールスポーツ少年団。

◆ｅブロック

上庄スポ少 24（11－2 / 13－4）6 明石ジュニア
上庄スポ少 18（7－3 / 11－5）8 日知屋東小
上庄スポ少 24（11－2 / 13－2）4 日知屋東小

【順位】①上庄スーツ少年団（富山）②日知屋東ハンドボール部（宮崎）②明石ジュニア女子（兵庫）

◆ｆブロック

瀬戸ジュニア 24（13－1 / 11－0）1 芦別バニーズ
桃園小学校 14（8－2 / 6－4）6 木田ブルーロケッツ
木田ブルーロケッツ 17（12－1 / 5－2）3 芦別バニーズ
桃園小学校 17（8－1 / 9－5）6 瀬戸ジュニア
木田ブルーロ 19（13－2 / 6－0）2 芦別バニーズ

【順位】①桃園小学校ハンドボールチーム（京都）②木田ブルーロケツ（福井）③瀬戸オールスタージュニア（岡山）④芦別バニーズ（北海道）

■決勝トーナメント１回戦

神森小学校 20（10－0 / 10－4）4 木田ブルーロケッツ
京田辺市選抜 11（4－3 / 7－3）6 宇土花園クラブ
明野北少年団 24（12－6 / 12－7）13 上庄スポ少
桃園小学校 22（10－3 / 12－2）5 甲田ハンドボール部

■準決勝

神森小学校 16（8－3 / 8－3）6 京田辺市選抜
明野北少年団 14（7－8 / 7－5）13 桃園小学校

■３位決定戦

桃園小学校 9（5－2 / 4－4）6 京田辺市選抜

■決勝

神森小学校 22（9－6 / 13－7）13 明野北少年団

第8回ヒロシマ国際ハンドボール大会
光州市庁H.C.(韓国)昨年に続きV

広島県ハンドボール協会理事長　山本　一

1994年に広島市で開催された第12回アジア競技大会のメモリアル大会として翌年から開催されているヒロシマ国際ハンドボール大会も今年で８回目を迎えました。

今年は７月18日(木)から、一日市内観光の日をはさんで21日(日)までの４日間、これまでの東区スポーツセンターから1991年にバルセロナオリンピック予選兼男女アジア選手権決勝戦を行い空前の活況を呈した広島サンプラザホールで開催しました。

広島で毎年開催される国際大会ですが、広島の関係者にとってこの大会を日本ナショナルチームの強化に役立ててもらうことが最大の望みです。今年は男女とも世界選手権のアジア予選の年です。男子チームは２月に後味の悪い試合で予選を通過することができなかったわけですが、女子はこの大会のあと７月25日からカザフスタンでの世界選手権アジア予選を控えていました。日本ナショナルにとってこれまでの成果を試すとともに最終調整の場としてほしかったわけです。会場の都合でこの時期の開催となったわけですが、もう１週間開催が早かったら良かったと思っています。

今大会の出場チームは韓国の光州市庁ハンドボールクラブ、中国の広東省選抜ハンドボールチーム、全日本ナショナル、それに地元の広島メイプルレッズ＋日本リーグ選抜チームの４チームでした。光州市庁Ｈ．Ｃ．はかって日本リーグの中村荷役で活躍した呉龍基コーチが指導しているチームで、過去多くの韓国ナショナル選手を輩出していた昨年も参加し優勝した強豪チームです。広東省Ｈ．Ｃ．は2008年の北京オリンピックを控え強化している中国からの参加でした。

７月17日に藤田雄山広島県知事、18日に秋葉忠利広島市長を表敬訪問しました。17日には今大会の記者発表、代表者会議、ウェルカムパーティーを行いました。

大会の結果は別記の通りでしたが、日本チームの西窪勝広監督が２日目にメイプルレッズ＋リーグ選抜に負けたことについて「選手達が林五卿、呉成玉の韓国コンビに萎縮し攻撃の工夫が足りなかったが、チームに対して活を入れてくれた。その結果最終戦の韓国に対して試合には負けたが選手達は臆することなく頑張ってくれたことは評価できる」と前向きに受け止めてくれたのは開催地側としてはほっとしています。

今大会には多くの来賓も来られ試合を観戦され、ハンドボールの醍醐味を堪能されました。(財)広島県体育協会からは多田公熙会長、河野徳男名誉顧問、大野徹専務理事、(財)広島市スポーツ協会からは田村鋭治会長、高本紘匡専務理事、またＮＨＫのプロ野球解説者の大野豊氏も観戦されました。大野さんは広島で番組を持っておられ７月にメイプルレッズの練習に参加されるなどハンドボールに親しんでもらっています。

大会最終日には場所を広島市内のホテルに移し中村克洋氏（元ＮＨＫサンデースポーツキャスター）の司会でサヨナラパーティを行ない、和やかなうちに大会の幕を閉じました。

今大会の表彰選手は次の通りです。

ＭＶＰ　光州市庁Ｈ．Ｃ．
　金　香氣（Kim Hyang-Ki）

優秀選手　光州市庁Ｈ．Ｃ．
　申　縝嬉（Sin Jin-Hee）

広島メイプルレッズ＋日本リーグ選抜
　遠藤ひろみ（シャトレーゼ）

全日本
　山田永子（筑波大大学院）

広東省Ｈ．Ｃ．
　張　耿（Zhang Geng）

広島メイプルレッズ＋日本リーグ選抜

全　日　本

中国・広東省選抜

韓国・光州市庁ハンドボールチーム

広島市長・秋葉忠利氏を表敬訪問

左から山下 泉（財日本ハンドボール協会 副会長）
大野 豊（プロ野球解説者）
大野 徹（財広島県体育協会 専務理事）

最後に、この大会を開催するにあたり特別協賛いただいた㈱モルテン、多くの飲料を提供いただいたキリンビール㈱、キリンビバレッジ㈱、コカコーラウエストジャパン㈱をはじめ多くの協賛をいただいた関係各位および報道各社に対してお礼を申し上げます。

【試合結果】

◆第1日目（7月18日・㈭）

チーム	得点	前半/後半	得点	チーム
全　日　本（1勝）	36	20－9 16－14	23	広東省選抜（中国）（1敗）
光州市庁H.C.（韓国）（1勝）	31	12－13 19－10	23	広島メイプルレッズ＋リーグ選抜（1敗）

◆第2日目（7月19日・㈮）

チーム	得点	前半/後半	得点	チーム
光州市庁H.C.（韓国）（2勝）	33	14－11 19－12	23	広東省選抜（中国）（2敗）
広島メイプルレッズ＋リーグ選抜（1勝1敗）	25	14－9 11－9	18	全　日　本（1勝1敗）

◆第3日目（7月21日・㈰）

チーム	得点	前半/後半	得点	チーム
広島メイプルレッズ＋リーグ選抜（2勝1敗）	26	15－7 11－16	23	広東省選抜（中国）（3敗）
光州市庁H.C.（韓国）（3勝）	24	11－10 13－12	22	全　日　本（1勝2敗）

〈高校招待試合＝女子〉

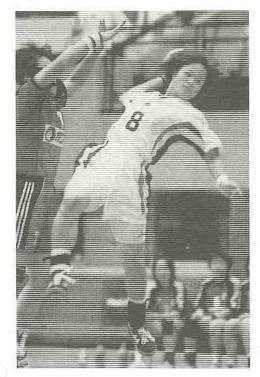
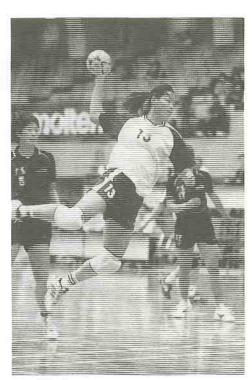
チーム	得点	前半/後半	得点	チーム
岩国商業高校（山　口）	22	12－7 10－11	18	賀　茂　高　校（広　島）

［最終順位］

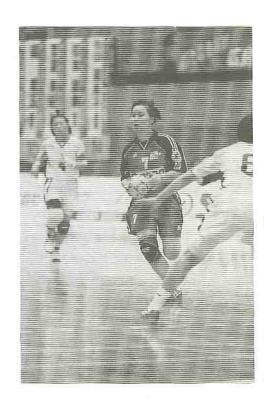
① 光州市庁H.C.（韓　国）
② 広島メイプルレッズ＋リーグ選抜
③ 全　日　本
④ 広東省選抜（中　国）

韓国VS広島メイプルレッズ＋ＪＨＬ　呉成玉（広島メイプルレッズ）

中国VS広島メイプルレッズ＋ＪＨＬ　牛 玉娥（中国No.13）

全日本VS韓国　全日本・山田永子選手（筑波大大学院）

全日本VS広島メイプルレッズ＋JHL

韓国VS中国　韓国・申　緋嬉

韓国VS広島メイプルレッズ＋JHL
石山亜希子選手（広島メイプルレッズ）

全日本・青戸あかね主将（広島メイプルレッズ）

広島メイプルレッズ＋JHL　林五卿

座談会

日本ハンドボール界の将来について

その２

出席者			
米倉　功	会長	中澤重夫	参与、前副会長、元専務理事
渡邊佳英	副会長	市原則之	ＪＯＣ常務理事、ＪＨＬ機構会長
冨田寛治	副会長	竹野奉昭	監事、元男子ナショナルチーム監督
山下　泉	副会長	杉山　茂	エグゼクティブアドバイザー、元常務理事
大野金一	監事、元専務理事	南木貞夫	スポーツイベント社社長
安藤純光	参与、元専務理事	大西武三	専務理事
		川上憲太	常務理事

渡邊副会長

杉山さんにお聞きしたいのですが、マスコミというか、テレビの問題は金の暴騰というのがありますが、もっとマスメディアにハンドボールが載るよう努力をしたいのですが、その辺はどうすれば良いのでしょうか。

杉山エグゼクティブアドバイザー

今回ワールドカップの最中に、ハンドボールの日本・フランス戦を朝日新聞が、約70行の前触れを書きました。あとのフォローがないんです。その後５戦合わせて50行にもなっていないでしょう。そこが問題ですよ。

それから８月８日からスタートするテレビ神奈川のスペインリーグの放送がどの程度関心をもたれるか興味があります。実は今入っているものは1997年のヨーロッパカップもあるのです。今シーズンのものは高くて買えないんです。つまり中古なんですが、それを新しくやっていくことも必要だろうと思います。そうすると、テレビ神奈川をキー局として全国に広がっていくという事になります。メディアに載せるということはそういう事だろうと思います。

それと常に話題を提供するということです。今なら宮崎君を売り出すとか。旧態の日本のハンドボール界では一人の選手を売り出すことに非常に抵抗がありましたね。しかしながら、70年の歴史の中で日本のジャーナリストに知られている名前が、野田、蒲生、西山、岩本で止まっています。田中美音子がデンマークから帰ってきた時になぜ凱旋インタビューを設けないのかということです。田中美音子と、中国のヨウと、韓国のホンがデンマークの新聞にどれだけ取り上げられているか。アジアのトリオとしてです。そういうようなことです、メディアをつかむということは。

昔私の知っている高校の先生は、ベストセブンの表彰状を破ったんです。ハンドボールは皆でやるもので、一人だけ選ばれることはない。それも教育だというわけでした。今でも日本協会はスター造りが下手だし、スターを嫌いなのではとさえ思う。

副会長のご質問に関しては、メディアに対しては話題を提供しつづけることです。これは蒲生君で止まったような気がするんです。彼があらゆる攻撃記録を塗り替えたときに、いつも、それをマスコミに外国の記録と比べて流し、マスコミはそれに乗ったんです。それが市原さんの仰るマネージメントなんです。日本リーグにお客さんを集めるのもメディアが動く要素です。

それと大野さんの考えることとは、どこかで一緒にしなければならないと思うんです。今は誤解を恐れず申し上げれば、まず特効薬を見つけるべきです。そして大西さんと大野さんの考えが同時に進行していくことが望ましいと考えています。

市原ＪＯＣ常務理事（ＪＨＬ機構会長）

日本リーグの各チームとも子供のチームを持っているんですよ。私も湧永で広島に行ったときから、子供会を作ってやっているんです。ですからもっとそれをマニュアル化して行う必要があると思います。

安藤参与

私は引退して長野に引越したのですが、竜王に「ハンド

ボールの町」という看板があるんですね。ホテル田川の主人が誰かに言われて立てたらしいのですが、どういう理由にしろ、そこではハンドボールをやっているわけです。田川の近くには町営かどうか体育館があり、いくつかのチームが合宿に来るらしいんです。そこに施設があり、指導者がいて定期的にハンドボール教室とか、大会が開催されているのでのではないかと思います。他にも、そういうところが多く出て、ハンドボールの町とか、ハンドボールの村とか出来ればと思います。

しかしそこには指導者が要るんです。こういうのを見たとき、大西さんが一生懸命やっている指導者の養成が大事だと思います。現在のナショナルの選手も大事なんですが、その次、そしてその次を担う子供達が育っていかなければ、だんだん先細りになってしまうと心配します。

ともかく動機はどうであれ、ハンドボールの町という看板を掲げているのですから、どうにかして活用できないものかと考えます。

大野監事

この間評議員会でも言ったのですが、安藤さんみたいにリタイアして遊んでいる人が一杯いるわけですよ。(笑)そういう人を積極的に活用して、子供を集め、親から金を集めるコーディネーターをやってもらい、コーチは若い公認指導者を有給で指導員に使ってやっていけば良いと思います。

安藤参与

役員のＯＢだけでなく、学生も毎年何百人と卒業してハンドボールから遠ざかっていくわけですから、その人達にも協力してもらえばと思います。遠ざかっていくというのは、日本がオリンピックにも出られない、世界でも活躍しないといったことがあるかもしれませんが、少なくとも大学４年間ハンドボールをやっていたのですから、ハンドボールに向けておくという事が出来ないものかと思います。

杉山エグゼクティブアドバイザー

ハンドボールの町ということが出たんですが、今まではハンドボールの高校、ハンドボールの企業、ハンドボールの大学があったんです。それがもう限界が来たということです。それが町になったんです。町は町作りの中にスポーツを置こうとしているところがものすごく多いでしょう。キャンプ場もそうでしょう。ビーチハンドボールがヨーロッパであんなに一気に走ったのは、観光関係者への新しい「ビーチ・レジャー」としての売り込みですよ。

ハンドボールの町が出来るのが時代で、ハンドボールの高校、大学、企業は衰退しているわけです。ハンドボールの町には、ＯＢもいなければ、先輩もいないわけですから、そこを競技団体としてどのような手を差し伸べるかが大切です。竜王町の行動は、長野県協会がやることなのか、日本協会に派遣指導員みたいな人がいて、派遣するのか私は両面のシステムだと思います。こういうことをこれから変えて行かなければならないんです。岐阜の森川さんの行動にしても、新しい目はすごく出て来ています。広島のメイプルレッズもそうです。そういう新しいものを日本のスポーツ界全部が掴んだことで、この機会に日本のスポーツ界の新しい動きに肩を並べていくかが日本協会のリーダーシップです。

山下副会長

メイプルレッズも、クラブ化してからマスコミ取材もずいぶん増えましたし、サポーターもずいぶん増えました。しかし地域への貢献は、選手も働きながらプレーをしていますので、指導に行けない悩みがあります。ですからサポーターの中からメイプルレッズを代表した形で指導者を派遣して、人件費と交通費ぐらい出せるようなシステムにすればまだまだ出来るのではないかと思いますし、このような形にするのはこれからの流れではないでしょうか。

杉山エグゼクティブアドバイザー

そうでしょうね。これまでのものが冬の時代になってしまいましたから、ここから突破しなければならないと思います。必ず春は訪れるわけですし。

市原ＪＯＣ常務理事（ＪＨＬ機構会長）

今後日本ハンドボール界は、ソフト面・ハード面・ヒューマン面の充実を図らなくてはなりません。特に、ソフトウェアの部分は、一貫指導システムの構築を全国的に網羅させ、「競技者育成プログラム」によって、じっくりと年

月をかけて将来のトップ選手を育成しなければなりません。日本の自動車産業の成功は、いち早く「生産システム」を作り上げたことですから、我々の身近の産業界にいい手本があるわけです。

それぞれの指導者が、後輩若年層に指導していただくのは大変有り難いのですが、我流で間違った指導法をすれば選手が困惑しますし、将来なかなか修正がきかなくなります。

そこで、育成方法の「基準書」をつくり全国展開を図っているのがＮＴＳです。現在、全国の指導者や日本リーグチームのご理解とご協力を得て、蒲生君を中心に順調に展開され徐々に成果が現れております。次は、指導者の育成ですね。

安藤参与

チャンスがあっても指導者がいないと出来ないと思います。小学校が完全に五日制になって、お母さんが土曜日困っているわけです。このようなチャンスを上手く掴んでいければと思いますが、それにはちびっこ野球のように町の叔父さん達がねじり鉢巻で子供達にハンドボールを指導してくれればいいと思います。それにはハンドボールを知らない人達も子供にハンドボールを教えられるような、市原さんの仰るようなマニュアルがあればいいと思います。

中澤参与

ハンドボールの役員を降りて１年あまりが経ちますが、ハンドボール界を外から見てハンドボールはこうだったのかとつくづく思うことがあります。在任中は、熱くなっていましたので解らなかった面があるのですが、世の中の流れは必ずしもその流れを汲んでいないんです。たぶんそれを杉山さんは指摘されているんではないかと思います。

私は長野県の出身で、長野県を例に挙げてみますといま安藤さんが云われた竜王町の状況は理解できます。屋代に青木崇さんという人がいますが、この方は国体を契機に屋代周辺のハンドボールを一挙に作り上げました。屋代高校はインターハイではあまりトップ進出しませんが、長野県では現在これに勝れるチームが少ないのです。かつては上田が強かったんですが。京都に出てくる小学生のチームはここ屋代にしかありません。これを小学校、中学校そして屋代にと繋げ、周辺の普及と強化に成果を上げています。

私は、青木崇氏のような人物を全国各地にどうやって置くか、これが一番大切だと思います。例えば長野の飯山に安藤氏という主を作って周辺の普及に努めていくしかないと思います。私は上田周辺をもう一度見なおしてみたいし、県内に主になり得る年輩の方がいますので、この人達を核にして一つずつ屋代ような形のものを作っていかなくてはならないと思います。ハンドボールは、その人の熱意と指導者の供給が必要だろうと思います。経験豊かな年輩ＯＢ、指導者の発掘と活用です。

昔、私は、ハンドボールの強化がもう一つわからないと言って、どうしてだと聞かれたことあるんですが、私は未だにどうしたらハンドボールが日の当たる場所に出られるのだろうか自らを問いかけています。

杉山エグゼクティブアドバイザー

日本のハンドボールは上手い奴とすごい奴を育てすぎたんじゃないでしょうか。ハンドボール遊びとハンドボールを面白いという奴をあまり育てなかったんじゃないでしょうか。そうではないかと反省しますね。

山下副会長

先日のマーケティング委員会でも、そのような話しが出ています。

米倉会長

私はサッカーをずっと見ていまして、なぜこんなにサッカーが盛んなのだろうかとつくづく感じたことは、これは一つのボールで三つや四つの子が蹴って遊べるんです。中南米でも、どこでも一番安くて、一番わかりやすくて遊べるんだと思うんです。最初はブームもヘチマもないんです。

たまたまＮＨＫでフランスがいかにサッカーが強いかということをやっていましたが、フランスは負けてばかりいるので、国家が予算をつけて、学校を作って、そこに言葉は悪いですが貧乏人の子供を集めて育てたんです。ジダンなどは出稼ぎの子供で、安アパートの前で、３っつや４っつの頃からボールを蹴って遊んでいたんです。仲間と一緒にゴールを勝手に作って蹴り入れていたということです。

我々子供の時に、軟式ボールで三角ベースの野球で遊ん

でいました。やはり底辺がぜんぜん違うわけです。そこから小学校に入り、中学に上がり、だんだんと正式なルールを覚え、オフサイドとか、スクイズとかヒットエンドランとかを覚えて来ているわけです。それがないと上手くならないなと、つくづく思いました。

大野監事

いま大同も、湧永もハンドボールスクールをやってはいますが、普通行政が組織的にやるのは、モデル市町村を作ってそこへ補助金を出してやらせるわけです。協会がそういうモデルの地域を取り上げて、指導者を派遣してどんどん育てていくという所から始めないといけないと思います。あちこちでやっているなといった程度では、組織的なパワーにならないと思います。

渡邊副会長

ドッジボールともっと連携が取れないかと思っています。ドッジボールは中学でやらないし、ハンドボールとリンクするところがあるわけですから、ドッジボールの上手い子を小学校の高学年になったらハンドボールと何かやるとかやっていけばもっと良いのではないかと思います。

大西専務理事

それは言われるとおりで、今課題になっています。異種競技間連携ということで、角常務理事が進めています。

市原ＪＯＣ常務理事（ＪＨＬ機構会長）

フットサルを卒業したらサッカーがあるのですが、ドッジボールを卒業しても何もないですよね。ですからハンドボールに繋がればいいですね。現在、日本リーグプレーオフのエキシビジョンに、ドッジボールを考えているところですが。

南木スポーツイベント社長

先ほどありました青木先生の現状報告なんですが、昨年長野南高校というところへ外部コーチで行かれて、インターハイ初出場させています。それとドッジボールの大会に、ハンドボールの小さい子も出しているみたいです。すごく元気でいらっしゃいます。

杉山エグゼクティブアドバイザー

ドッジボールの大会に小学校のハンドボールを出し、小学校のハンドボールの大会にドッジボールのチームを出すことです。そうした思い切った交流が絶対必要です。

中澤参与

繰り返すようですが、青木崇氏のようなあらゆる触角を持っている人物をどうやって発掘するかです。京都へ行って聞くと、長野県代表チームの父兄はあの先生（青木崇氏の教え子）なら子供を預けられると言って一緒に出てきているんです。あの姿はすごいと思います。

竹野監事

青木さんは熱心ですよ。

山下副会長

各大学の政界、財界に沢山いるハンドボールのＯＢのリストがないので学連にお願いしているのですが、富田さん会長ですので、一つ大号令をかけて、組織力を使って集めて頂きたいと思いますが。ラグビーはこれがすごく出来ているんです。

杉山エグゼクティブアドバイザー

昭和 25 年に関東の大学の総合ＯＢ名簿が出来ているんです。その頃の大学のＯＢというのは連帯感があったんです。そうは云っても某大学と某大学は参加してないんです。そのような歴史がありましたが、私は大学ＯＢ・ＯＧ電話帳を大分前から抱いています。それが東海版、関西版などとなっていくことは大事なことだと思います。球界外への流出を注意すれば、10 万人会などにとってもいい試みです。

大西専務理事

話は尽きないんですが、後の行事も控えていますからそろそろ終わりにしたいと思います。また、機会を捕らえてこのような貴重なお話を伺えればと思っていますので宜しくお願いいたします。

「負ける悔しさを持とう」

企画・広報委員
早川　文司

釜山アジア大会が終わり、02年の国内シーズンがいよいよ盛り上がる季節になった。全日本実業団選手権のあとアジア大会を挟んで日本リーグが開幕、１週間後には高知国体も行われた。さらに12月中旬には全日本総合選手権と国内ビッグイベントが続く。来年３月のシーズン終了まで今年度はどのようなドラマが演じられるか楽しみにしたい。

ところで今年の前半、ハンドボール界は猛暑とは裏腹にショキングな話題が球界を走り抜けた。２月の男子に続いて女子までも来年の世界選手権へのチケットを手離してしまったのだ。

男子はともかく女子は世界選手権の出場権を得られる３位以内は確保できると思われていた。準決勝で韓国に敗れ３位決定戦に回った日本。打倒中国に燃えたが序盤の攻防で遅れをとり、反撃も及ばず４位と涙を飲んだ。

第３回の初出場以来着実にその地位を確保、４大会連続の出場を果たしてきただけに、無念さは計り知れないものがある。93年以来の男女そろっての予選敗退という屈辱につながった。大会直前、壮行試合となったひろしま国際大会の戦いぶりを見て多少の懸念はあったが「まさか」の感がした。

ここで言いたいのは「負ける悔しさ」をトップの地位が上がれば上がるほど、個々の選手、スタッフがしっかりと身に付けてもらいたいと言うことである。これから国内大会が続く中で、せっかく会場へ足を運んでくれた人たちに感動と興奮を与えてもらいたい。自分たちが今、何を求めて戦っているかを観客に示せるプレーがなくてはなるまい。

そのためには日ごろの練習での意識の高まりがなんとしても必要だろう。監督が、コーチが言うからやるーでは意味がない。各選手がそれぞれにプランを持って練習に、さらに練習に臨むかではなかろうか。そういったところがなかなか見えてこないような気がしてならない。

ハンドボール愛好者を増やすためにも大切な要素だと思うし、また、将来において同じように代表を目指す若いアスリートたちのためにも、そういった意識を高めてもらいたいのだ。負けた悔しさがあるのは分かるが、その気持ちを次にどうつないでいくかが課題である。アテネ五輪の予選は刻一刻と迫ってきている。男女そろってクリアするためにもこれからが最も大切な時期である。

高松宮記念杯
第43回全日本実業団ハンドボール選手権大会を振り返り

全日本実業団ハンドボール連盟　石井　勝

■はじめに ●●●●●●●●

今大会を平成14年９月11日～15日に福井市及び松岡町にて開催するにあたり、福井県ハンドボール協会ならびに行政・教育・マスコミ等の皆様や特別協賛を戴いた関西ペイント様に支えられ、盛大に開催され感動の内に閉幕できたことを、感謝しております。

又、大会のタイトルが本年度より高松宮杯から高松宮記念杯となったことをご紹介しておきます。８月に高松宮家にごあいさつに伺った際、既に殿下はご逝去されているので、記念大会に変更願うことの連絡がありました。よって、本年度より高松宮家より冠を戴いている大会（全日本インカレ・インターハイ）は随時記念杯になることをご連絡いたします。

さて、この大会は昨年より、我々の長年の夢であるオリンピック出場とメダル獲得を目指して、８月まで日本代表が十分強化活動ができるタイミングと、強化に貢献できる大会に変革いたしました。その結果、開催日を９月に変えて、試合方式もリーグ戦を取り入れることで、国内トップレベルの試合を数多く皆様方に観ていただけるようになりました。

開催誘致も、従来の固定型から脱し、より多くの皆様方に観ていただく為に、希望制とさせていただきました。その中で、大変ハンドボールの盛んな福井県でこの大会が開催されることは、ハンドボール競技の発展に対し、誠に意義深いものがあります。

また、日本スポーツ界の中で、魅力あるハンドボール競技に育てるためには、激しくスリリングで高度な技術を持った試合を、大勢の方々に観ていただき、その興奮と技を自分自身のプレーに取り入れて頂きたいと思っています。

たくさんの人々がハンドボール競技に参加して、観て楽しみ、やって楽しみの両面で感動できる競技スポーツになればと考えています。

■総　括 ●●●●●●●●

今年度の優勝は、男子が17年ぶりで大同特殊鋼で、女子は２年連続で広島メイプルレッズに栄冠が与えられたことは、各々のチーム関係者は感極まるものと察します。大変おめでとうございました。

試合の内容ですが、男子は昨年のベスト４に変化がみられ、ホンダ熊本に変わり昨年の雪辱を達成した大崎電気工業が入ってきました。

大崎電気工業は全日本中川選手のケガが完治していないこともあり、苦戦を強いられるとの戦前の予想を覆し、チームに迫力がでて、堂々のベスト４入りとなりました。

そんな中でのベスト４による総当たりの決勝リーグ戦は、１戦１戦が下克上の戦いとなり、１点を争う好ゲームの連続でした。

それを抜け出したのが、新生大同特殊鋼でした。昨年までチームの牽引選手であったペク選手に変わり、同じ韓国人のチョ選手を入れ、全体に流れがでてきて松林選手の速攻や、ＧＫの高木選手の神がかり的なキーピングでピンチを救いリズムに乗って、次々に強敵を打破していきました。

圧巻だったのは、優勝決定戦での前半６分から16分の間に、立て続けに６連取して試合巧者の湧永製薬に付け入るスキを与えず、勢いに乗ったことは戦前からは誰もが予期しなかったことでした。

その後の、後半も立ち上がりから攻め続け、４連取し大勢を早々と決めてしまったことも驚きでした。

このように、４大タイトルの最初の試合でこのような展開になったことは、この１年は大変興味のある試合が多く展開される予感がしてきました。

一方女子は、昨年日本リーグから３チームが姿を消して寂しい感じがしていましたが、新たに三重県に新しいチームが芽生え始めたことは、少しホッとしています。

このチームは完全にクラブ化を意識した三重バイオレットアイリスです。学生から主婦まで幅広い選手層のなかで、１企業に拘わらず多くの企業に支えられ活動する新しいタイプのクラブチームであります。これからこのようなチームが増えていくことを切に望んでいます。

さて、試合は４チーム２グループによる予選リーグで順位を決め、その後トーナメント方式による順位決定戦方式に変えました。

予選リーグでは、広島メイプルレッズとシャトレーゼが全勝で勝ち残り、決勝トーナメントでも準決勝で予選リー

グの好調さを維持して勝ち上がり、無傷同士の決勝戦となりました。

前半20分までは、シャトレーゼがリードする展開となりましたが、底力がある広島メイプルレッズが残り３分で同点に追いつくと、河本と青戸の２次速攻が決まり、２点逆にリードで前半を終了しました。

後半は、７分から広島メイプルレッズがイム選手とオ選手を中心に爆発して、連続７連取して体勢を決めました。

大同特殊鋼も広島メイプルレッズも、自チームのカラーを早く確立して一気に決めてしまったことは、強さを観衆に訴えた戦いでありました。

■次回開催に対して ●●●●

来年度は、いよいよアテネオリンピックの予選の年でもあり、日本の全勢力を上げて９月の神戸では頂点に立てるよう強化していく必要があります。

そこで、来年の第44回全日本実業団選手権大会の９月開催が微妙になってきています。９月開催はオリンピック予選と重なっていて、そのあとすぐに日本リーグがあり、全日本選手の疲労度からすると、詰め込み日程は避けたいと感じます。

現在日程調整はしていますが、日本代表の強化スケジュールとも睨み合わせ、７月中旬を予定したく考えています。

是非、我が県で第44回全日本実業団選手権大会の開催をしたいという都道府県協会がありましたら、実業団連盟までご連絡を願いたいと思います。

又、この社会情勢の中でのチーム存続は大変ですので、実業団というレッテルは外し、社会人枠でも学生枠でも、いつでもこの大会に参加できるような組織体制を確立することもこれからの我々の役割と感じています。

この大会を通じて、世界に羽ばたける選手を多く育成できる運営を目指し改革していく必要があると考えています。

皆様方の多くの協力を得て出来上がるものと思いますので、ご支援よろしくお願い申し上げます。

試合結果

《男子》

◆第1日（9月11日(水)）

◎予選トーナメント１回戦

アラコ九州 22−17 北陸電力
大崎電気 32−11 金沢市役所
トヨタ車体 34−11 八光自動車工業
インテックス21 34−19 大阪ガス

◆第2日（9月12日(木)）

◎予選トーナメント２回戦

湧永製薬 36−22 アラコ九州
大崎電気 22−18 ホンダ熊本
大同特殊鋼 25−18 トヨタ車体
ホンダ 31−22 インテックス21

◎９～12位決定トーナメント１回戦

北陸電力 35−9 金沢市役所
八光自動車工業 22−15 大阪ガス

◆第3日（9月13日(金)）

◎決勝リーグ

湧永製薬 29−28 大崎電気
大同特殊鋼 20−18 ホンダ

◎５～８位決定トーナメント１回戦

ホンダ熊本 25−19 アラコ九州
トヨタ車体 29−17 インテックス21

◎９～10位決定戦

北陸電力 30−14 八光自動車工業

◎11～12位決定戦

金沢市役所 29−27 大阪ガス

◆第4日（9月14日(土)）

◎決勝リーグ

湧永製薬 28−28 ホンダ
大同特殊鋼 18−18 大崎電気

◎５～６位決定戦

トヨタ車体 29−28 ホンダ熊本

◎７～８位決定戦

アラコ九州 28−23 インテックス21

◆第5日（9月15日(日)）

◎決勝リーグ

大同特殊鋼 25−17 湧永製薬
ホンダ 25−18 大崎電気

《女子》

◆第1日（9月11日(水)）

Ａグループ

広島メイプルレッズ 31−20 三重バイオレットアイリス
シャトレーゼ 28−18 ブラザー工業

◎Bグループ

北國銀行 30−19 香川銀行TH
オムロン 24−17 ソニーセミコンダクタ九州

◆第2日（9月12日㈭）

◎Aグループ

広島メイプルレッズ 26−25 シャトレーゼ
ブラザー工業 23−19 三重バイオレットアイリス

◎Bグループ

北國銀行 20−17 ソニーセミコンダクタ九州
オムロン 26−13 香川銀行TH

◆第3日（9月13日㈮）

◎Aグループ

広島メイプルレッズ 26−24 ブラザー工業
シャトレーゼ 26−21 三重バイオレットアイリス

◎Bグループ

ソニーセミコンダクタ九州 18−14 香川銀行TH
オムロン 18−15 北國銀行

◆第4日（9月14日㈯）

◎決勝トーナメント準決勝

広島メイプルレッズ 25−19 北國銀行
シャトレーゼ 21−19 オムロン

◎5〜8位決定トーナメント1回戦

ブラザー工業 24−16 香川銀行TH
ソニーセミコンダクタ九州 18−12 三重バイオレットアイリス

◆第5日（9月15日㈰）

◎決勝

広島メイプルレッズ 25−17 シャトレーゼ

◎3〜4位決定戦

オムロン 21−13 北國銀行

◎5〜6位決定戦

ソニーセミコンダクタ九州 16−12 ブラザー工業

◎7〜8位決定戦

三重バイオレットアイリス 22−16 香川銀行TH

最終順位

《男子》

優勝 大同特殊鋼（17年ぶり11回目）

2位 ホンダ
3位 湧永製薬
4位 大崎電気
5位 トヨタ車体
6位 ホンダ熊本
7位 アラコ九州
8位 インテックス21
9位 北陸電力
10位 八光自動車工業
11位 金沢市役所
12位 大阪ガス

《女子》

優勝 広島メイプルレッズ（2年連続4回目）

2位 シャトレーゼ
3位 オムロン
4位 北國銀行
5位 ソニーセミコンダクタ九州
6位 ブラザー工業
7位 三重バイオレットアイリス
8位 香川銀行TH

平成14年度
第10回全日本ハンドボールマスターズ大会を終えて

宮崎県ハンドボール協会理事長　宮元　章次

1．はじめに

馬上少年過ぐ
世平らかにして白髪多し
残軀天の赦すところ
楽しまざるをこれ如何せん
四十年前少壮の時
功名いささか復自ひそかに期す
老来識らず干戈の事
只把る春風桃季の盃

400年前の老年（50代）の武将（マスターズ）は伊達正宗である。世の中は平和になったが、体は老いてしまっている。すべては昔のことである。今は桃季のもとで酒を汲み、春風をめでている。

さて、今年の夏、平成のマスターズを拝見するために、三河の地に下りた。

開催場所は豊田市体育館並びに中京大学体育館であった。大会参加チームは交流会方式（男子10、女子６）、並びに順位決定方式（男子11、女子６）の合計33チームあった。

2．必要とされている熟年パワー・女性パワー

豊田市体育館では多くのボランティアが大会の準備に係っていた。審判、高校・大学の補助役員、トレーナー、医者など

「川島さん、此方の袋詰を手伝って下さい！」

直ぐに、元気の良い返事が跳ね返ってくる。依頼人はマスターズ大会の女性選手であって、返事をした人はマスターズ大会の男性選手であり審判で活躍された方である。現在も多忙の日を過ごされていることと思う？が、大会の準備はマスターズに参加資格のある者が率先して行なっているのである。熟年世代の仕事ぶりは実に丁寧で手際がよいのである。ハンドボール競技の運営において、熟年パワーのフル回転している光景はまことに新鮮であった。

懇親会で、紹介　チームワクナガの面々

3．マスターズ大会の趣旨について

マスターズ大会の趣旨を小山哲央大会実行委員長が説明された。ハンドボールマスターズ大会は「国民の誰もが、それぞれの体力や年齢・技術・興味・目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに楽しむことができる生涯スポーツ社会を実現する。」（スポーツ振興基本計画のあり方に対する答申（平成12年度））に則っている、という内容であった。

最近の国際学会ではExerciseやPhysical activityの中にスポーツ（Sports science）を含めることが多い。体を動かすという事に視点をおいて、スポーツはその中の一部であるとする考え方である。肥満を解消するために運動をする。そのためにスポーツをすることを否定できない状況にある。その背景にあるのはQuality of life（QOL）の改善や長寿への期待が運動に寄せられているからである。世の中の流れはマスターズにフォローの風を送りこんでいる。

4．ゲームについて

プレイヤーが審判と一緒に拍手をしながら入場してきた。選手の中にはシルバーパンツやゴールドパンツをはいている人がいる。これらのパンツを着用している人の年齢は相当であるから、若い人は「いたわり」の心を持って接しましょう、というサインである。

参加資格は男子40歳以上、女子35歳以上である。試合形式は勝利を追及するタイプと楽しさを求めるタイプに分類される。どちらのタイプも３試合から４試合ほどのプレイを行なった。ハンドボールが楽しいことは誰もが認めるところであり、安全性にも考慮しているマスターズ大会はハンドボールの普及の起爆剤になる可能性が推察できた。他競技では水泳のマスターズ大会が大盛況である。

5．懇親会

今回は10th anniversaryということで盛大におこなわれた。冒頭の詩においては老詩人は若い頃を懐かしがり、酒を愛したことを紹介したが、マスターズの参加者は再び剣ならず球を持ち、汗を流した。その後に酒を汲み交したが、参加者全員が汲み交わしたその量は？

6. 宮崎で会いましょう

愛知県の皆様、大変お世話になりました。来年度のマスターズ大会は宮崎市で開催される予定です。宮崎空港から市内へのアクセスは車で20分、電車で15分程度、しかも、試合会場は市内の中心部に位置しています。詳しくは宮崎県協会のホームページをご覧下さい。

宮崎県ハンドボール協会

http://www7.ocn.ne.jp/^mha/

＊試合結果＊

男子

❖ 第1日目（7月27日（土））

【順位決定戦】

〈1回戦〉

徳山クラブ	12－10	岩手教員
下松クラブアダルツ	17－9	オールド愛媛
生駒オークス	22－11	46G会

試合後の交歓風景

〈2回戦〉

名城オールスターズ	14－11	徳山クラブ
オールドフェイス	16－9	紫嵐会
WAKUNAGA	16－14	下松クラブアダルツ
生駒オークス	18－12	神楽坂フェニックス

〈準決勝〉

オールドフェイス	26－7	名城オールスターズ
WAKUNAGA	14－10	生駒オークス

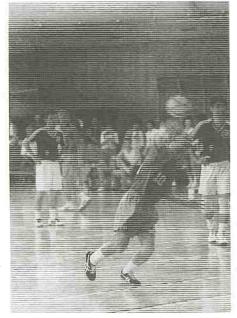
【敗者交流会方式】

岩手教員クラブ	16－12	葵クラブ
46G会	14－14	豊橋マスターズ
知多クラブ	12－9	オールド愛媛
紫嵐会	20－15	東山クラブ
岩手教員	21－13	46G会
徳山クラブ	17－8	神楽坂フェニックス
紫嵐会	12－8	オールド愛媛

【交流会方式】

櫻ドール	13－6	LBCアルバトロス
ATF	15－13	三景
兵庫選抜	20－6	葵クラブ
愛知コモンズ	23－9	豊橋マスターズ
東山クラブ	16－16	知多クラブ
三景	21－10	櫻ドール
ATF	18－13	LBCアルバトロス
兵庫選抜	12－10	愛知コモンズ
葵クラブ	9－6	櫻ドール

7mスローを打つ浅田選手

大原選手（元ナショナル）

山本伸二選手（元オリンピック代表）

豊橋マスターズ 11−9 LBCアルバトロス
三景 16−9 愛知コモンズ
ATF 13−10 知多クラブ
兵庫選抜 19−8 東山クラブ

❖ 第2日目（7月28日(日)）

【敗者交流会方式】

下松アダルツ 16−13 岩手県教員
46G会 15−14 オールド愛媛
神楽坂フェニックス 14−14 紫嵐会
下松アダルツ 16−11 徳山クラブ

【交流会方式】

三景 14−8 LBCアルバトロス
兵庫選抜 15−11 知多クラブ
AT-F 19−11 櫻ドール
豊橋マスターズ 13−10 葵クラブ
愛知コモンズ 18−18 東山クラブ

【順位決定戦】

〈3位決定戦〉

生駒オークス 14−9 名城オールスターズ

〈決　勝〉

オールドフェイス 12−11 WAKUNAGA

女子

❖ 第1日目（7月27日(土)）

【順位決定戦】

〈予選リーグ（Aグループ)〉

風見鶏ファミリー 8−7 スズッキーズ
風見鶏ファミリー 8−7 b's リターンズ
スズッキーズ 15−8 b's リターンズ

1位 風見鶏ファミリー 2勝
2位 スズッキーズ 1勝1敗
3位 b's リターンズ 2敗

〈予選リーグ（Bグループ)〉

マミーズ 15−11 ビタミンAichi
マミーズ 9−5 甲斐クラブ
ビタミンaichi 8−8 甲斐クラブ

1位 マミーズ 2勝
2位 ビタミンAichi 1勝1分（総得点19）
3位 甲斐クラブ 1勝1分（総得点13）

【交流会方式】

モッピークラブ 9−9 武蔵野クラブ
瀬戸内レディース 14−10 スマイルGifu
中部ドリームス 14−10 ギャロップレディース
武蔵野クラブ 13−4 スマイルGifu
瀬戸内レディース 15−7 モッピークラブ
中部ドリームス 11−6 武蔵野クラブ
ギャロップレディース 13−4 スマイルGifu
中部ドリームス 10−9 モッピークラブ
瀬戸内レディース 13−11 ギャロップレディース

❖ 第2日目（7月28日(日)）

【交流会方式】

瀬戸内レディース 12−12 武蔵野クラブ
ギャロップレディース 11−9 モッピークラブ
中部ドリームス 11−6 スマイルGifu

【順位決定戦】

〈5−6位決定戦〉

b's リターンズ 14−8 甲斐クラブ

〈3−4位決定戦〉

ビタミンAichi 10−9 スズッキーズ

〈1−2位決定戦〉

マミーズ 14−7 風見鶏ファミリー

小森園選手（元ナショナル）

第8回男子ジュニアアジア選手権大会報告

全日本男子U－19ハンドボールチーム監督　玉村健次

1　選手構成・選考について

メンバーは、一昨年度は、韓国遠征・北欧遠征を経験し、さらに今年度は、全日本Pとしてアジアナショナルサーキットに参加、極東のナショナルチームと対戦しチャレンジカップ02では実業団との対戦を経験してきた選手から編成された。チームとしての活動が長く、2年間で約20試合ほどキャリアを積み、例年にないほどに良いチーム状態で試合に臨む事が出来た。

また、トヨタ車体所属の加藤久輝選手は、我々が全日本Pとしてチャレンジカップ岐阜大会で対戦した際にスタッフの目に留まり年齢的にも問題なく今回代表入りをお願いした。登録メンバー選考は、最後まで難航したが最終的に機動力を重視した形となり、志賀選手をメンバーから外し、大会に挑んだ。

＊参加メンバーについては前号に掲載されているので参照されたい。

2　大会運営について

この時期のタイの気候は、夏の暑い時期が終わり、少し雨期に入った時期であった。

大会前半は天候に恵まれたが終盤に入ると急に大雨が降ったりして不安定な気候になり、我々の最終戦であった台湾との順位決定戦では体育館の雨漏りによりコートの状態が最悪の時があったが、空調関係などは整備されていて心配していた問題も雨漏りの事だけで比較的快適な練習・試合ができた。

ただ、バンコクの名物である交通渋滞だけは、大変悩まされ、日本で15分かかる距離を渋滞時には1時間近くかかった事もあり、試合・練習の出発時間の調整が難しかった。

3　試合の内容・結果について

＊前号で掲載済みのため省略。

4　今後の課題について

●オフェンス

・ボールのない状態でのプレーのレベルアップ－ドリブルを使ったプレーが多い（すぐにドリブルをついてしまいプレーに幅がなくなってしまう）
・バックプレーヤーのシュート力のレベルアップ（相手ディフェンダー・GKの動きに対するバリエーションを増やす）
・プレスされた時のプレーの向上－パニックにならず状況判断しプレーする（常に動いた状態でボールをもらいプレーするスタイルの確保）
・サイドプレーヤーの1：1のレベルアップ（セットプレーでのサイドの得点を増やす）

●ディフェンス

・大きなポストに対するディフェンス力のアップ
・マイボールにできるプレーのレベルアップ（シュートブロック・ドリブルカット・パスカットなどの）
・大型ディフェンダーの体力アップ－退場しないテクニックの習得
・クイックスタートに対するディフェンス力の強化（バック・チェックの徹底）

●全体

・60分間コンタクトプレーができる体力の向上
・試合経験をさらに積む（親善試合ではなく、タイトルのかかった試合や賞金が出る大会に参加する）
・栄養面でのサポート－食生活の充実
・運動生理学・体力トレーニング論などの知識の習得
・運動・休息・栄養－ハンドボール以外の時間の有効利用
・メンタル面のさらなる強化－色々なメンタルトレーニングの導入
・極東諸国の情報分析を強化－極東諸国に足を運び情報を入手し、常に分析する
・中東諸国の情報分析を強化－中東諸国の情報を色々な所から入手し分析する

5　総評

第8回男子ジュニアアジア選手権は、結局クウェート・カタールの中東勢が世界選手権の出場権を獲得し、幕を閉じた。日本は、結果5位という成績で4大会ぶりに順位を上げたが、中東の策略がなくレフェリーの判定が普通なら韓国と日本が世界選手権に出場していたと大会を見た極東の多くの関係者も言っていた。私も参加チームの戦力などを分析し、我々と比較した上でどう見ても我々の実力が上回っていると思い、絶対の自信を持って挑んだ大会だっただけに勝てなかった事は大変悔やまれる結果であるし、世界選手権に出場する事が出来なかった事に対し非常に責任を感じている。

だが、それだけの実力があるのにどうして勝てなかったのか？　選手達も日の丸を意気に感じて戦ってくれた。確かに中東の策略・審判の判定によるものと言ってしまえばそれまでなのだが、強者必ずしも勝者ならずと言われるように最後に勝ったものが強いのであって負けてしまえば記憶にも記録にも残らないのである。今、私は、この経験をもう一つ下のカテゴリーであるU-16でも経験できないものかと考えている。悔し涙は若い時に流しておいた方が良いのではないかと思う。そして、その悔し涙を嬉し涙に変えるチャンスが若ければ若いほど多くあるのではないかと。そういった意味でもこれからの若いカテゴリーでは、もっともっと色々な事を経験し、タフな選手を育成していかなくてはいけない。だが、

U-16から上に続く強化体制は確実に良い方向に向いているのではないかと判断する。引き続き一貫指導体制を行い、さらに確固たるものにしていかなければならない。

ただ、今回の私の反省すべき点であったのは、次回この大会を経験するであろう選手を出場または帯同させる事が出来なかった事である。やはり、人から話を聞いて想像し話す事と実際に自分がその場にいて見てきた事を話すのではインパクトが全く違ってくる。スタッフだけではなく選手の中にも経験した人がいなければ次に繋がらないであろう。

幸いにも今回のチームは、前回経験者がチームの主力として残っていた事もあり、個人としてチームとしてのモチベーション・モラルも高く、私が1996年からジュニア世代を担当して以来最高のチームと言える。クウェート戦で負けた時、控え室で選手達が所かまわず泣いていた。エースの岩永もしゃくりあげて大声で泣いていた。また、キャプテンの中山は、シャワー室に入りシャワーを流しながら大声で泣いていた。それぐらいプライドのある負けず嫌いの集団は今回が初めてであった。昨年来からの色々な経験が彼らを強くしていったのは言うまでもないが、私はこのチームに日本の未来の光を見たように思う。これからの日本を背負ってくれるであろうこの選手達が必ずリベンジしてくれると信じている。6年後の北京オリンピックでは、このチームから多くの選手が出場している事を願っている。

しかし、他の競技団体でもこのような事例がある・ないは聞いていないがアジアのハンドボール界、特に中東は、絶対に裏で何かを行っているようだ。そしてコーチのクリチェンコが吐き捨てるように「これはハンドボールでもスポーツでもない。ただのオイルチャンピオンシップだ!!」と言った言葉のようにスポーツマン精神などは微塵もないところなのである。

やはり、本当に強いチームだけが世界で戦えるのであって、今回出場が決定したチームは、世界選手権で「これがアジアの代表なのか!」と罵られないように戦ってもらいたいし、以前にもあったが直前のキャンセルなどをしてペナルティーをもらい、次回のアジアの出場枠を減らさないでほしいと願っている。

そして、この大会に参加して思った事の一つとして、この大会に参加させないでこの時期ヨーロッパ遠征させ純粋にハンドボールを経験させるのがよいか、それとも今のアジアの現状を経験させ若いうちからダーティな部分を見せておく事がよいのか、といった二つの事が私の中で交差して非常に頭を悩ましている。

青少年(ジュニア)の育成だけを考えると、純粋にハンドボールに取り組ませた方がジュニアの強化としては成功していくと思う。しかし、アジアでトップにならなくては世界への道は閉ざされてしまうのも現実である。おりしも大会期間中には、タイ協会の計らいで日本・韓国・中国・台湾とタイを含めた5カ国で将来新しく極東協会たるものを結成し、中東に対抗していこうといった決起集会も開かれ、極東が動きだそうとしている。ようやく動きだしてくれそうである。しかし今さら遅いと思われるがジッと我慢して動かないよりはどういう形であれ動いた方が必ず進歩があり、変化が見られる。その事を信じて止まない。

しかし、そのような事をしても今のアジアの現状は、中東が莫大な財政力を見せつけアジアの中心に居座っている。中東による中東の為の大会ばかりなのである。そして、これからもこのような結果ばかりになってしまうと青少年達はハンドボールに興味を示さなくなり、日本のハンドボール界の衰退にさらに拍車をかける事になりかねない。だからこそ今、日本は極東の国々とコミュニケーションをとり、極東のリーダー的存在になってもらう事を望む。

イランでのアジア選手権でナショナルが経験した事をコーチのフレデリック・ヴォルがフランスで話題にしてくれたように、今回は、コーチのクリチェンコがロシアで話題にしてくれる事であろう。このようにヨーロッパの関係者にももっとこの事を話題にしてもらい、各国に協力体制をとっておくべきではないか。

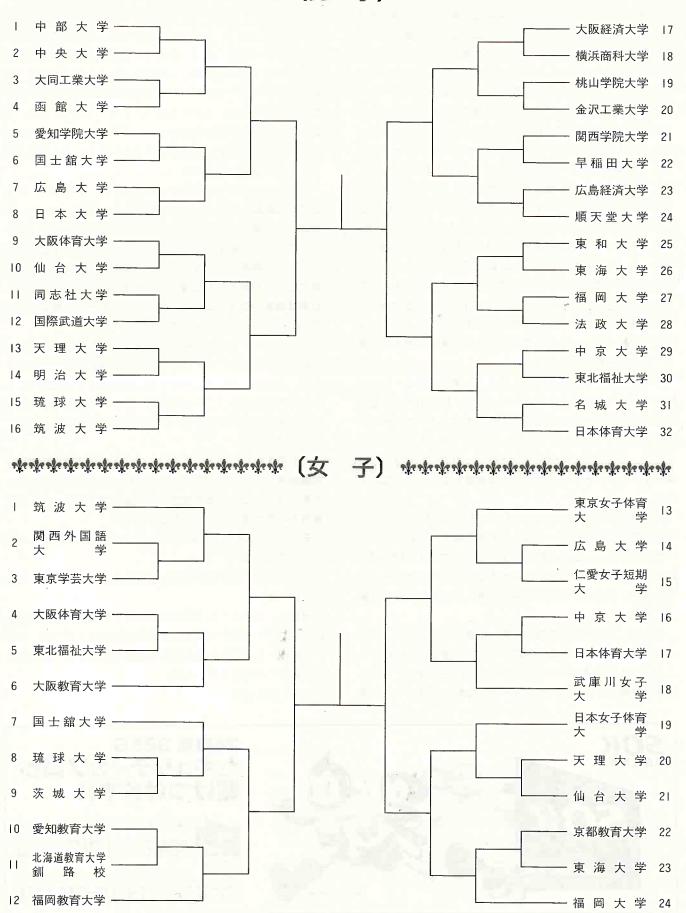
この事態を日本全体の問題として考え、早急に対策を練り、問題解決に向かわなくてはいつまで経っても同じ結果を招くであろうし、このままでは世界への道は閉ざされ、ますます世界との差が開くばかりである。

そして、「ジュニアの成功なくしてナショナルの成功はない!!」のである。

今回、アジア選手権に参加してこのような事を実感した大会であった。

最後に、このような大会に参加させていただいた関係各位にスタッフ・選手共々感謝するとともにスタッフ一同、日本ハンドボール界の若い世代でのさらなる発展と成功の為に力を注いでいく所存であります。

Never give up!!

高松宮記念杯・男子第45回・女子第38回
平成14年度全日本学生ハンドボール選手権大会組合せ

NTS2002ブロックトレーニング実績＆センタートレーニングの開催について

(財)日本ハンドボール協会
ＮＴＳ運営委員会　委員長　蒲　生　晴　明

７月～９月に、ＮＴＳブロックトレーニングが**表１**のとおり関係者の皆さんのご協力によって無事終了しました。

各ブロックでご協力いただいた方々に深くお礼申し上げます。有難うございました。

さて、このトレーニングも、３年目を迎えて年々その趣旨・内容が各ブロックあるいは地区に広まってきております。今回も、各県から推薦を受けた選手とその指導者の皆さんがブロックトレーニングに多数参加しました。機関誌を通じてピーアールしましたところ、推薦された選手とその指導者だけでなく、自主的に参加しトレーニングの勉強をしようと集まっていただいた指導者も年を追う毎に増えております。一部の指導者が、集まって競技力向上を目指しても、競技する相手・ライバルチームが、競技力向上しなければ本当の意味で日本全体→国際競技力の向上にはなりません。

日本ハンドボール協会でも、各事業を広報・ピーアールなど鋭意展開しておりますが、色々な事業の趣旨・内容について、充分届かない場合があります。指導者の皆さんには、ＮＴＳの活動が日常の指導・コーチングに充分反映していただけるように今後も、ピーアールを継続してまいります。

また、各ブロックトレーニングに参加していただいた指導者の皆さんには、県市町村レベルでのＮＴＳを、県・地区協会が主体となって開催する中でのインストラクターになっていただけることを期待しており勿論、我々ＮＴＳのメンバーがその要請があれば、出向いてブロックトレーニングと同様に指導を実施していくことも可能であります。しかしながら、各地域での自主的な展開なくして、有望な競技者の育成には、繋がり難いと考えられます。指導するコーチが、内容を熟知していることが重要なファクターでありその指導によって、競技者が育成されていくからです。

どうか、ＮＴＳブロックトレーニング→ＮＴＳ県トレーニング→ＮＴＳ市町村トレーニングへと発展展開していただけるようにお願いいたします。

さらには、本年から「日本ハンドボール協会公認Ｊ級指導者：中学生以下対象」の要請講習会が開催されます。

この指導者養成の内容・趣旨は、ＮＴＳとリンクしております。したがって、ブロックトレーニングに参加された指導者は、その資格を積極的に取得(資格取得は自由です)していただき、各県レベルにおいて、中心的な指導者として、その手腕を発揮していただけるように期待しております。

文部科学省・ＪＯＣ・各競技団体（日本ハンドボール協会）では、アテネオリンピック→トリノオリンピックに向けて、この事業を「一貫指導システム：競技者育成プログラム」と位置づけて、全競技団体に対して2005年までに構築・実践を義務付け現在推進中です。したがって、各競技団体がこのシステムを展開していくことが、日本の国策として国際競技力向上に大きく寄与していくことを期待しております。

また、センタートレーニングの開催予定について、**表２**のとおりです。

表１：NTSブロックトレーニング実績

	開催日時	開催場所	住所
北海道	9/7・8	函館大学	函館市高丘町51－1
東北	9/14・15	花巻市体育館	岩手県花巻市花園町50
関東	8/28・29	草加市スポーツ健康都市記念体育館	草加市瀬崎町1398
東海	8/24・25	大同特殊鋼	名古屋市南区大同町2－30
		プラザー工業	名古屋市瑞穂区苗代長15－1
北信越	9/28・29	富山県総合体育センター	富山市秋ヶ島183
近畿	8/31・9/1	和歌山県立橋本体育館	橋本市北馬場455
中国	8/6・20・27	湧永製薬	広島県高田郡甲田町下甲立1624
四国	8/31・9/1	高知女子大学	高知市池2751－1
九州	9/7・8	山鹿市総合体育館	山鹿市熊入町416
		オムロン鹿陽センター	山鹿市杉1110　オムロン熊本

表２：NTSセンタートレーニングスケジュール

	開催日時	開催場所	住所
・U－19男子	12/22～23	大同特殊鋼	名古屋市南区大同町2－30
・U－19女子	未定	未定	未定
・U－16男子	1／11～12	大同特殊鋼	名古屋市南区大同町2－30
・U－16女子	1／18～19	プラザー工業	名古屋市瑞穂区苗代長15－1
・U－12男女	1／18～19	プラザー工業	名古屋市瑞穂区苗代長15－2

＊U－19女子については、９月30日現在強化委員会と調整中。

以下の記事は、交通遺児育英会機関紙「君とつばさ」（第253号、平成13年12月1日発行、発行・財団法人交通遺児育英会）から抜粋、構成し直したものです。御協力いただきました（財）交通遺児育英会機関紙編集長 坪井光雄様をはじめ関係の皆様に感謝申し上げます。（機関誌編集委員会）

部活動拝見　女子ハンドボール部員

沖縄県立陽明高校2年　東濱（ありはま） 裕子さん（17）

燃える青春

インターハイ3位―沖縄のスポーツ界に光彩を放つ浦添市の陽明高校女子ハンドボール部を10月18日訪ねた。この日、陽明高校主体の沖縄選抜チームは、『新世紀・みやぎ国体』秋季大会のハンドボール少年女子決勝で、秋田（大曲農高）を破って優勝した。

沖縄のテレビや新聞は「ハンド少年女子V」と大きく報道し、陽明高校校舎にも「祝全国制覇！！」の横断幕が掲げられた。沖縄国体以来14年ぶりの快挙は、米同時多発テロ以来観光客の減少で、湿りがちだった沖縄県民の心を高揚させた。

20日（土曜日）正午から中庭のコートで練習を見た。体育館が他の部活と重なり、気温28度の蒸し暑い屋外コートでの練習だったが、選手は意気盛ん。

新里泰一監督が、選手に短い指示を与えたあと、20人の部員（うち8人は沖縄選抜に主力として参加）から14人を選んで2チームを編成、ミニゲームを開始した。試合形式の練習は、楽しみながら技術や戦術を覚えるのに一番効果がある。勝つためにはどんな練習が必要か選手自身に考えさせるという。

東濱選手のシュートをディフェンス練習

3歩3秒以内にボールを手から放すルールは、スピード感にあふれ、ボールが目まぐるしく動き、一瞬にして攻守が変わる。選手の動きを目で追っていた新里監督がロングパスの失敗に、ピピーッと鋭く笛を吹いてゲームを止め、選手にアドバイスする。

練習の途中、仲里一彦校長が姿を見せ、「国体優勝おめでとう。よくやったね」と、部員の奮闘と勝利をたたえた。

練習は1時間で終わったが、部員はさらに1時間自主練習した。普段の練習時間は、平日が1時間半、土曜2時間半、日曜3時間。ハードな練習で選手強化に励む指導者が多い中にあって“新里流”は短時間。

指導方針は、ハンドボールを通じて人格形成。“目指せゴール日本一、成せばなる何事も”。「技と速さに高さを加えて、相手がなかなか読めないシュートやパスをするのが理想」。

このチームに176センチの大型選手がいる。センターの東濱裕子選手だ。センスのいいハッスルプレーが魅力的、国体、インターハイで大活躍した。

新里監督は「東濱はセンターとして攻守に一番重要なところをこなしている。高さに展開力があり、視野が広い。素質があるから将来は全日本クラスにいけると思う」と、そのプレーぶりに目を細める。キャプテン・仲宗根彩さんも「アリは頼りがいがある。一緒にやっていて楽しい」

「インターハイ」陽明―盛岡第二（岩手）前半、陽明の東濱選手がシュートを放つ

裕子さんは小学5年のときからハンドボールを始めた。中学、高校で、裕子さんと姉・香織さんはハンドボールでみんなの注目を浴びた。その話題は、11年前オートバイ事故で重い後遺障害を負った父親・永八さんを勇気づけ、付き添う母・律子さんら家族の気分を明るくした。裕子さんが今も誇りにしているのは、姉が高校3年のとき、1年生選手として一緒にインターハイに出場、ベスト8まで進出したこと。

監督を中心に笑顔いっぱいの部員

国体選抜の優勝で弾みをつけた陽明高校女子ハンドボール部は、来年春の全国高校選抜大会と、インターハイ優勝に向けて、練習にいい汗を流している。チームメイトの信頼も厚い裕子さんは「仲宗根キャプテンらと力を合わせ、今度こそ高校日本一の栄冠をつかみ取りたい」と夢を膨らませている。

医事委員会報告

ハンドボールナショナル選手の競技力向上のためのコンディショニングの検討

坂本静男（順天堂大学浦安病院）
西山逸成（赤堀栄養専門学校）
松井幸嗣（日本体育大学）
新井重信（防衛大学校）
石井　豪（日本体育大学）
鳥羽泰光（順天堂大学浦安病院）
中野国子（赤堀栄養専門学校）

【目的】

日常生活活動量、栄養摂取量および休養内容を調査し、ハンドボール選手のコンディションを高レベルに保つ方法を検討することを、研究目的とした。

【対象】

対象は、男子ハンドボール部員Ｎ大学20名、Ｂ大学18名であった。Ｎ大学対象の平均年齢19.8±0.9歳、平均身長176.7±6.6cm、平均体重74.7±10.5kg、平均体脂肪率14.3±3.5%。Ｂ大学対象の平均年齢20.2±1.0歳、平均身長172.8±5.6cm、平均体重67.8±6.2kg、平均体脂肪率12.8±2.5%。

【方法】

①Ｎ大学は2002年1月22日～26日、Ｂ大学は2002年2月9～14日、体育館、食堂などで調査、測定を行った。②ハンドボール運動強度は平均10METsとし、対象記述の練習時間より練習中の消費カロリー量を求めた。③練習中、シャワー浴中（入浴中）を除き全日、腰部にライフコーダーを装着し、日常生活中の消費カロリー量を求めた。④練習中消費カロリー量に日常生活活動消費カロリー量を加え、練習中基礎代謝量を減じ、1日総消費カロリー量を求めた。⑤栄養士が食堂に赴き栄養摂取状況を連続3日間調査し、摂取カロリー量を主に検討した。⑥POMS検査を行い、パターン、トータルスコアより、疲労度を判定した。⑦血算、血液生化学検査（脂質、タンパク質、血清酵素）を行った。⑧糖、タンパク、潜血について、尿検査した。

【結果】

①Ｎ大学平均練習時間は2.6～2.8時間であり、平均消費カロリー量は1920～2080kcalであった。Ｂ大学平均練習時間は1.1～6.1時間であり、平均消費カロリー量は1240～4190kcalであった。②平均日常生活活動量はＮ大学2360～2580kcal、Ｂ大学2190～2500kcalであった。平均1日総消費カロリー量はＮ大学4150～4620kcal、Ｂ大学2850～5820kcalであった。③平均1日摂取カロリー量はＮ大学3320～4050kcal、Ｂ大学は3740～4630kcalであった。④1日総消費カロリー量と1日摂取カロリー量が測定された対象の比較では、1日摂取カロリー量の方が1日総消費カロリー量を上まわっている日はＮ大学はなく、Ｂ大学は1日のみであった。個人比較では、Ｎ大学1日目10名中3名、2日目10名中1名、3日目9名中1名、Ｂ大学8名中1日目1名、2日目1名、3日目6名であった。⑤体調不良と推測される者は、Ｎ大学10名（1回目）、9名（2回目）、Ｂ大学11名であった。体調良好と推測される者は、Ｎ大学4名（1回目）、3名（2回目）、Ｂ大学3名のみであった。⑥すべての対象は、尿検査に異常を認めなかった。⑦Ｎ大学では貧血を認めなかったが、Ｂ大学では貧血3名、ヘモグロビン低値（13.8～13.9mg/dl）3名を認めた。中性脂肪低値はＮ大学4名、Ｂ大学14名、総コレステロール低値はＮ大学1名、Ｂ大学6名に認めた。血清鉄低値はＢ大学1名のみ認めた。血清酵素はＢ大学で異常者を認めず、Ｎ大学でGOT高値3名、GPT高値7名、γ-GTP高値1名を認めた。

【考察】

対象にはナショナルジュニアも含まれ、今後のナショナル選手のコンディショニングを考える上で有益なデータと思われる。以前に報告されたように、ナショナル選手のトレーニング量を考えると、食事摂取量は5000kcalを必要とする。POMS検査結果や血清酵素値異常を考えると、1日のトレーニング量や1週間中に完全休養日を設けるといった、抜本的対策を考える時期と思われる。ナショナル選手育成にも、運動・栄養・休養の高レベルでのバランスが必要である。

平成14年7月常務理事会

日　時　平成14年7月13日（土）
11：00～16：00
場　所　東京体育館　第4研修室
出席者　山下副会長、大西専務理事、常務理事8名、監事1名、参事1名

報告事項

1．斎藤名誉会長を偲ぶ会・正副会長会議報告
2．全国理事長会について
3．スーパーチャレンジ'02及びフランス遠征報告
4．ナショナルチームスケジュールについて
5．C＆Sカップ大会について
6．競技者育成技術委員会報告
7．B級コーチ養成講習会報告
8．TV放映について報告

ファン層の拡大を狙って、TVKで7月26日より来年3月まで、28回に亘り毎週1時間世界最高レベルのハンドボール試合を放映する。

9．平成14年度登録状況報告

審議事項

1．全国クラブ選手権大会西地区大会の件

棄権チーム、関係加盟団体に対して、報告書による事実に基づいた対応を検討する。

2．アテネオリンピック予選組織委員会の件

（案）に基づき、検討がなされた。

3．オフィシャルスポンサーC＆Sの推進体制について

弁当拡販推進体制を下記のように取る事になった。

①関東、東海、関西の3重点ブロックを設定、次のステップとして他の地域にも拡販していく。

②上記3ブロックの責任者を決め依頼する。

③3人の役職は、マーケティング委員会委員（弁当担当）とする。

④日本協会事務局に本部を置き、1名を貼り付けるかはペンディングとする。

⑤7月18日に第1回会議を行う。

4．プロジェクト21について

資料プロジェクト21に基づき、課題とステップについて説明があり承認された。

5．アジア競技大会選手団の件

プサンアジア大会2002選手団について説明があり、承認された。

6．特別登録金Ⅱについて

本年を最後の年として各企業にお願いに上がる。支援企業に対するお礼としてドットコムの広告紙に広告を入れる提案があり、承認された。

7．奨学金制度について

奨学金制度の考え方は原則的には了承されたが、再度計画を計画を練りなおして、9月に上程する事となった。なお、急を要する選手の問題については、何らかの資金援助をすることを原則として了解された。

がんばれハンドボール10万人会「サポート会員」9月入会・継続会員

【北海道】高橋英明【岩手】野田高広【茨城】榎本雅秀、岡野早苗【埼玉】西みどり【東京】高橋直行、松井郁雄、平賀とみ子【神奈川】夏山真也【富山】西坂真理子、越前明子【愛知】田中基明、佐藤壮一郎【三重】坂倉良一【大阪】城谷昌吾【広島】森岡　勝【香川】伊藤司朗【熊本】渡辺美子、田北久美子【鹿児島】本吉英理子【沖縄】大城太郎、大城　聡、大城大二郎

【11月の行事予定】

★大会

◆男子45回・女子38回全日本学生選手権大会
11月13日(水)～17日(日)／大阪・堺市家原大池体育館

★会議

◆ 全国理事長会議：11月9日(土)／東京
◆ 常務理事会：11月9日(土)／東京

★編集後記★

経済不況、少子化、高齢化社会と言う言葉は聞きなれた以上の言葉である。

ちょうど今月号の「日本のハンドボールの将来を考える」座談会で、杉山氏が述べている「いままでのハンドボールは上手いプレイヤーを育ててきた。ハンドボールを面白いというプレイヤーを育ててこなかったのでは…」との言葉に大きなインパクトを受けた。

このために、スポーツの大衆化と高度化という広がりの中で、あらゆる階層の人のためのプログラムと環境整備を行っていかなければならないことは確かだと思う。世界の頂点を極めようとする人から身体障害者まで、ハンドボールに関わることとプレーすることで自己実現が出来、豊な生活が送れることが理想ではないかと思う。　(M.M.)

HAND BALL CONTENTS Nov

（登録チームの講読料は登録料に含む）

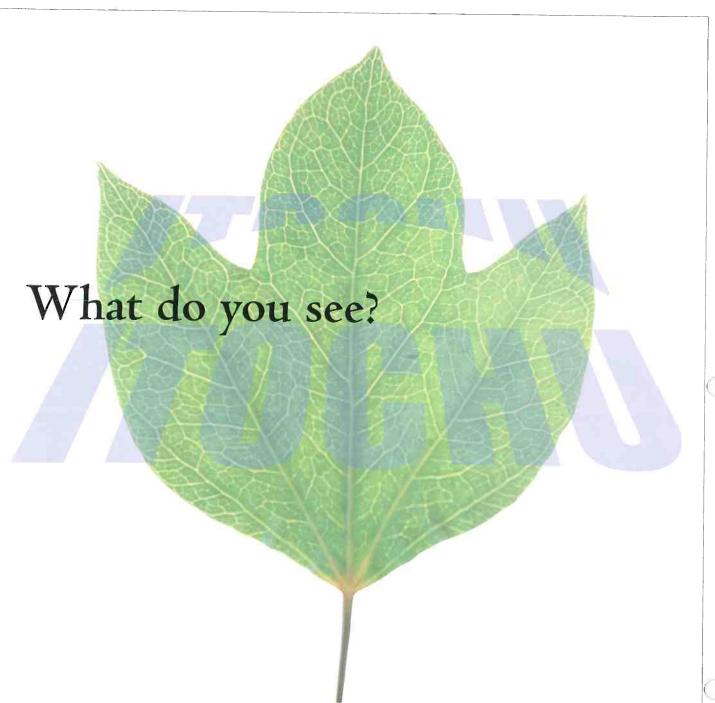
2002コートの主役

PKCH3-AD　　¥4,600

検定球3号、アデランテ、手縫い
国際公認球、一般・大学・高校・男子用
天然皮革
パ

PKCH2-AD　　¥4,500 パ

検定球2号、アデランテ、手縫い
国際公認球、一般・大学・高校・女子用・中学校用
天然皮革

What do you see?

透き通った葉の向こうに

「ITOCHU」が見えますか？

私たちは、

企業としての透明性を大切にしています。

伊藤忠商事株式会社

http://www.itochu.co.jp

(財)日本ハンドボール協会編『ハンドボール』第四三五号

昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可

平成十四年十月二十六日印刷 平成十四年十一月一日発行

東京都渋谷区神南一—一—一
電話 代表 三四八一—二三六一
振替 〇〇一三〇—七—一〇二九三

編集兼発行人 大西武三

定価 年間三三〇〇円